

2022年 9 月 8 日

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	鎮静剤使用下の外来内視鏡検査における帰宅基準の検討 ～安静時間変更後の実態調査と延長した患者の要因分析～
倫理委員会承認番号	No.22-41
研究の対象	データ収集期間：2020年11月～2021年3月 研究対象：外来で鎮静剤（ミダゾラム）を使用し内視鏡検査（上部、下部、超音波内視鏡）を受けた方。ADL（日常生活動作）が自立している方 除外対象：ソセゴン（鎮痛剤）、フルマゼニル（鎮静からの回復、呼吸抑制の改善）を使用した方。同日に複数の検査を受けた方。（例：大腸カメラと胃カメラ、胃カメラと超音波内視鏡）データ収集期間中に複数回検査を受けた方。
研究目的・方法	研究目的 1) 安静時間を1時間に変更後、どの程度の方が帰宅できているかを明らかにする。 2) 安静時間が延長になった症例を分析し、その要因を明らかにする。 研究デザイン：後ろ向き 分析方法：得られたデータを元に記述統計を行う。集計したデータから1時間で帰宅できた方の割合を算出する。集計したデータを安静1時間群と延長群の2群に分け、それぞれの群の年齢、性別、ミダゾラム投与量、検査時間の割合を算出する。延長群の内視鏡経過記録と覚醒スコアの内容分析を行う。
研究に用いる 試料・情報の種類	電子カルテの内視鏡実施画面より対象者を抽出し、内視鏡経過記録および覚醒スコア表からデータを収集する。データ内容：年齢、性別、ミダゾラム投与量、検査時間、1時間後の覚醒スコア、安静時間延長した症例の覚醒スコアの項目
外部への 試料・情報の提供	
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ( )
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 内視鏡センター 研究責任者：看護科長 平舛 仁美 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	